

心潤う響き ～ 外園祥一郎 ユーフォニアム リサイタル

“日本が世界に誇る”ユーフォニアム奏者、外園祥一郎(ほかぞの・しょういちろう)。97年には、英国の権威あるユーフォニアム・チューバ国際大会で日本人初の「最高栄誉賞」(Euphonium player of the year)を受賞。「繊細にしてしなやか」かつ「力強さと温かさ」に満ち溢れた、ユーフォニアム(金管楽器)の魅力をご堪能下さい!

〈予定曲〉

ファンタジー(フンメル)、つむじ風をつかまえて(三好真亜沙)、UFO Dream(デビット マスランカ)、華麗なる幻想曲(アーバン)、永遠に(アンドレ ギャニオン)、月の光に抱かれて(アンドレ ギャニオン)、「オペラ座の怪人」よりミュージックオブザナイト(アンドリュー＝ロイドウェッバー)、メタルスネイル組曲 作品85(吉松隆)

※曲目・曲順は、当日変更となる場合があります。予めご了承ください。



外園祥一郎 Shoichiro Hokazono ユーフォニアム 東京音楽大学准教授

1969年鹿児島市生まれ。92年、日本管打楽器コンクール第1位および大賞。94年、東京コンセルヴァトアール尚美ディプロマコース修了。97年には、英国の権威あるユーフォニアム・チューバ国際大会で日本人初の「最高栄誉賞」(Euphonium player of the year)を受賞。同年、仏フィリップジョーンズ・ブラスコンクール、ユーフォニアム部門1位優勝。

これまでにNHK交響楽団、東京交響楽団、大阪フィル、名古屋フィル、大阪市音楽団、九州交響楽団、札幌交響楽団、ジャパ・ヴィルトーズ・オーケストラ、ストラスブル管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、東京佼成ウインドオーケストラ等と共演。また航空自衛隊航空中央音楽隊に在籍中には、ソリストとして数多くのコンサートに出演。

彼のために、池辺晋一郎・吉松隆・前田憲男氏をはじめ一流の作曲家達が「ユーフォニアム」のオリジナル作品を多数作曲し、次々と発表。この楽器の可能性を追求し続ける姿勢は、国際的にも高く評価されている。

ソロ・コンサートを国内外で多数開催の他、「ブラス・ヘキサゴン」「ザ・チューバ・バンド」などアンサンブル・ユニットを主宰し、意欲的に取り組んでいる。

これまでに発表されたアルバムは23枚(内3枚は文化庁芸術祭ノミネート作品)(レコード芸術誌「特選盤」も多数)。ほかゲスト・ソリストとしても数多くのアルバムに参加。

2013年3月、航空自衛隊を退職し、ソロ活動および後進の育成に力を注ぐ。ユーフォニアムを三浦 徹、露木 薫、スティーヴン ミードの各氏に師事。

現在、東京音楽大学准教授、エリザベト音楽大学・洗足学園音楽大学・昭和音楽大学各客員教授および相愛大学音楽学部特別講師。ビュッフェグループジャパニ専属講師

本年10月10日(土)～12日(月祝)には、九州・霧島で開催の「九州ユーフォニアム・チューバ フェスティバル in 霧島」において、音楽監督を務める。



大堀晴津子 Setsuko Ofori ピアノ

4歳よりピアノを始める。東京音楽大学ピアノ演奏家コース卒業、同大学大学院修了。同大学ピアノ科非常勤助手を経て、現在、昭和音楽大学・同短期大学部非常勤伴奏講師をつとめる。PTNA ピアノコンペティション全国大会金賞などソロでの受賞始め、びわ湖国際フルートコンクール一般部門最優秀協演賞受賞、日埴文化協会フレッシュコンサート最優秀共演者賞受賞などアンサンブルでの評価も高い。浜松国際管楽器アカデミー、またコンクール、コンベンションなどでの公式伴奏もつとめる。

在学中より多数の演奏会に出演し、現在はアンサンブルピアニストとして、室内楽や器楽伴奏を中心に演奏活動している。

特に管楽器奏者からの信頼は厚く、最近ではCD録音など活動の幅を広げている。